笑顔あふれる給食を ぱんだーるくんコロッケを提供

本市のジャイアントパンダ誘致の機運を高めるとともに、コロナ禍でも楽しい給食の時間を提供するため、小・中学校などの給食で「ぱんだーるくんコロッケ」を提供しました。真ん中にぱんだーるくんをデザインした可愛いコロッケを食べた助川小学校３年の江口さんは「いつものコロッケより美味しく感じた。かみね動物園に早くパンダが来て欲しい」と笑顔を輝かせました。

子どもが創る文化の祭典 華やかで躍動感あふれる演奏などを披露

３月 11 日、日立シビックセンターで、子どもたちがさまざまな文化・芸術活動に触れ、体験することで、興味の幅を広げてもらおうと「ひたちこども芸術祭」が行われました。日立市文化少年団によるステージ発表や親子で楽しめる体験・展示コーナーが設けられ、多くの方で賑わった芸術祭。事務局の相沢さんは「足を運んでくれた子どもたちが、自分の好きなこと、やりたいことに出会える機会になれば嬉しいです」と話しました。

日立検定テキストを 14 年ぶりに改訂 日立市を深く学ぶ１冊が完成

日立商工会議所は「ふるさと日立検定」の公式テキストブックを 14 年ぶりに改訂しました。検定は、日立市の地域の美点や魅力を再発見し、郷土を愛する心を深めることなどを目的に 2008 年から開始され、これまでに幅広い世代の方が挑戦し、907 人の合格者を輩出しています。改訂委員会の三沢委員長は「従来より本のサイズや文字を大きくし、カラー印刷を採用しました。日立を深く学ぶ最良の一冊が完成しました」と話しました。

地域づくり情報誌「まちむら」に 赤羽緑地を守る会の活動が掲載

（公財）あしたの日本を創る協会が発行する情報誌「まちむら」に、赤羽緑地を守る会による地域を元気にする魅力ある緑地公園づくりの取組が掲載されました。守る会の廣瀬会長は「これからも市民の皆様に親しまれる緑地公園作りに取り組み、市の魅力度アップに貢献していきたい」と話しました。赤羽緑地では、４月中旬頃まで水芭蕉が見頃です。ぜひご覧ください。

火災に注意
日立駅前で火災予防街頭広報を実施

3月1日、日立駅前で春季全国火災予防運動（3月1日～7日）の一環として、火災予防街頭広報を行いました。街頭広報には、日立市防災協会や女性防火クラブ員ら22人が参加し、駅利用者に対して、防火啓発品を配布するなど火災予防を呼びかけました。街頭広報に参加した日立市防災協会の宮内会長は「たくさんの方に火災予防について耳を傾けていただき、大変ありがたい。火災が1件でも減少するよう、火気の取扱いには十分に注意してほしい」と語りました。

連携プレーで火災被害を最小限に
発見、通報、初期消火の4人に感謝状

市消防本部は、消防活動に協力した市民（吉久保陽子さん、棚谷朋美さん、佐藤　俊さん、朝日　翔さん）に感謝状を贈呈しました。吉久保さんらは、2月10日に金沢町地内で発生した建物火災において、迅速な119番通報と適切な初期消火により、被害の拡大防止に貢献。初期消火をした吉久保さんは「今回は付近の方の協力により迅速に通報と消火をできたことが、大事に至らなかった理由だと思います」と話しました。

子どもの幸せな成長を願い
JX金属㈱が小学校などに童話集を寄贈

JX金属㈱は、平成26年度から子どもたちに豊かな心を育んでもらおうと、「童話の花束」を毎年市内の小学校などに寄贈しています。

今年は、小学4年生から6年生の児童全員分や図書館分などとして、4,225冊が寄贈されました。JX金属㈱の相場日立事業所長は「これを読んだお子さんが健やかに育ってほしい。家庭での読み聞かせなどでコミュニケーションを図るツールの1つにも使っていただきたい」と寄贈の思いを語りました。

世界トップ選手の六角さんがお手本を披露

Let's play Baseball 5
新競技「Baseball 5大会」が開催

3月11日、十王スポーツ広場体育館で、5人制の手打ち野球「Baseball5」の大会「第1回ROKKAKU杯」が行われました。同大会は、昨年のBaseball5第1回W杯でMVPに選ばれた六角彩子さん（助川中出身）をゲストに、2017年に誕生したばかりのこの競技を多くの方に知ってもらおうと開催されたものです。参加した約100人は、世界トップ選手である六角さんからの指導や試合を通して「ボールさえあればできる」Baseball5を楽しみました。

イベント参加や観光などの際には、新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。